

ライスマのローンはこうして役立ってますー7

カンボジア中央銀行（NBC）へ正式に金融ライセンス申請中のライスマですが、書類はひとつおとり受理されており、NBCが事務所へ実際の場所と営業状況の確認に来て問題なければたぶんそれで終わりだとの事ですが・・・お役所仕事！なかなか来ないです。催促して催促して「来週行く」「もうちょっと待って」を堂々巡りを繰り返しています。まあお役所相手なので焦らず、つかず離れず続けて頑張ります。

プノンペン北部のトンレサップ河沿いにルサイケオというイスラム教の住民が集まって暮らす地域があります。国道から脇道へ入ると、女性たちは髪の毛を覆い、近所のモスクからはコーランを読む声が響いてきて中東へ旅してきたような雰囲気になります。



また、この辺りは元来トンレサップ河や支流の氾濫によって恵みを受けてきているので、近代的な商売には向きませんが、自然と仲良く向き合う昔ながらの仕事をするのにはうってつけ、その一つが今回ご紹介するリアックさんのご家族です。



今は雨季のため、河は水かさを増してきており、多くの恵みをもたらしてくれます。リアックさんの家族は河で魚を捕って、それを開いて天日干しにして、カンボジア語で「トライギアツ」と呼ばれる魚のヒラキの干物を作って市場へ売っています。

その魚のヒラキを市場へ運ぶためのバイクが古くなってあちこち故障ばかりするというので買い換えるためにライスマのローンを利用したいということでした。かなりバイクも酷使して



きたものと察せられます、なにしろ干物の量が半端ではないんです。

下の写真のように2, 3日天日干しにしたものを市場に卸すということです。この日はまた大量みたいで、おばあちゃん、河にせり出してまで干してました。



そしてライスマの担当者もこのイスラム地域担当のMr. マット。実は彼もイスラム教徒なので、彼はその強みを活かしてイスラムの村々を廻り、貸付顧客数ではウチの営業スタッフの中でダントツ1位をこの1年キープして。そろそろリーダーに昇格させたいのですが、昇格すると歩合給がなくなるのでと渋られてます、カンボジア人には珍しい、本当に仕事大好き人間のマットさん、今後も成長が楽しみなスタッフです。

大手のマイクロファイナンスでは貸付はお客さんのところで行うけれど、毎月の返済は事務所まで来てもらうというところがほとんどです。でもローンの利用者は皆さん忙しく頑張っておられる方が多いので、ライスマではスタッフが利用者の家や店に毎月通って返済に行く手間を省いてあげるようにしています。今後もこうしてカンボジアの人たちの成功や、より実りのある生活レベルアップのためのお手伝いをして参ります。



2015年8月7日
ライスマ
磯部正広